

別記

様式第1号（第5条、規則第3条関係）

導 入 （ 変 更 ） 計 画 書

法人住所：宮崎市橘通東1-9-1
 法人名：社会福祉法人宮崎福祉会
 事業所住所：宮崎市橘通東1-9-1
 事業所名：特別養護老人ホーム宮崎園
 担当者名：宮崎 太郎
 電 話：0985-26-705
 E-mail：miyazaki@mail.jp

1. サービス種別・事業所定員（サービス種別のいずれかに○印を記入すること。）

サービス種別：施設・居住系 ・ 在宅系
 定 員：50

2. 事業内容（介護ロボットの種別のいずれかに○印を記入すること。）

①介護ロボットの導入に伴う経費

【介護ロボットの種別】：移乗介護 ・ 移動支援 ・ 排泄支援 ・
見守り・コミュニケーション ・ 入浴支援 ・ 介護業務支援
 【介護ロボットの製品名】：ひなたロボット
 【導入台（セット）数】：50
 【導入希望時期】：令和4年 11月頃

②見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費

【通信環境整備の内容】：Wi-Fi 工事 ・ インカム ・ システム連動経費
 【見守り機器の導入状況】：機器名（ ひなたロボット ）
 導入（予定）時期（ 令和4年 11月 ）
 【インカム】：台数（ 30 ） 導入予定時期（ 令和5年1月 ）
 【システム連動経費】：ソフトウェア ・ ウェアラブル端末 ・ ゲートウェイ装置
 【Wi-Fi 工事着工予定年月日～完了予定年月日】：令和4年12月1日～令和5年2月1日

3. 導入後の使用計画（3年間の使用計画）

介護ロボットは令和4年11月頃、インカムは令和5年1月を目処に導入。全職員を対象に、導入直後および定期的に研修を実施することで、正しい操作に努める。導入機器を使用し、ソフトウェアでデータ収集・分析を行うことで、認知症高齢者の行動傾向を把握し、離床時に突発的に起きる転倒の防止につなげる。

4. 導入により達成すべき目標・期待される効果（介護職員等の労働時間削減、身体的負担の軽減、業務効率化、離職率の低下等について記入すること。）

夜勤帯の訪室回数を4回から2回に減らし、必要などきのみに駆けつけることができるようにし、夜勤時間帯の介護職員の身体的負担の軽減に努める。

5. その他の介護職員勤務環境改善の取組み（取組みがある場合は記入すること。）

処遇改善加算Ⅰの取得（令和元年4月）、特定処遇改善加算Ⅰロの取得（令和2年4月）